平成23年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月4日

上場会社名　株式会社インテリジェント ウェイブ　　上場取引所　大
コード番号　4847　　URL　http://www.iwi.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役　社長執行役員　（氏名）山本　祥之
問合せ先責任者（役職名）取締役　常務執行役員　経営管理本部長　（氏名）石井　郁夫　TEL 03-6222-7015
四半期報告書提出予定日　平成23年2月10日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成23年6月期第2四半期の連結業績（平成22年7月1日～平成22年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第2四半期	2,070	△4.9	△61	—	△61	—	△67	—
22年6月期第2四半期	2,177	△21.4	△4	—	△1	—	55	41.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年6月期第2四半期	△257.26	—
22年6月期第2四半期	222.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年6月期第2四半期	5,649	4,650	82.3	17,656.71
22年6月期	5,451	4,642	85.2	17,626.31

（参考）自己資本　23年6月期第2四半期　4,650百万円　22年6月期　4,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年6月期	—	0.00	—	500.00	500.00
23年6月期	—	0.00			
23年6月期（予想）			—	500.00	500.00

（注）当四半期における配当予想の修正有無　無

3. 平成23年6月期の連結業績予想（平成22年7月1日～平成23年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,330	7.5	230	△35.8	250	△35.4	120	△43.1	448.56

（注）当四半期における業績予想の修正有無　無

4. その他　（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　無

新規　―社　（社名　　）、　除外　―社　（社名　　）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　有

② ①以外の変更　無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年6月期2Q	263,400株	22年6月期	263,400株
② 期末自己株式数	23年6月期2Q	―株	22年6月期	―株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年6月期2Q	263,400株	22年6月期2Q	246,782株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は【添付資料】P3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 ･･････ ２
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 ･･････ ２
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 ･･････ ２
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 ･･････ ３
２．その他の情報 ･･････ ３
(1) 重要な子会社の異動の概要 ･･････ ３
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 ･･････ ３
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 ･･････ ４
３．四半期連結財務諸表 ･･････ ５
(1) 四半期連結貸借対照表 ･･････ ５
(2) 四半期連結損益計算書 ･･････ ７
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ･･････ ８
(4) 継続企業の前提に関する注記 ･･････ 10
(5) セグメント情報 ･･････ 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ･･････ 11
４．補足情報 ･･････ 12
(1) 生産、受注及び販売の状況 ･･････ 12

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社の企業集団は、当社、当社の親会社及び子会社２社で構成されており、親会社の大日本印刷株式会社は印刷事業を主たる事業とし、当社及び子会社２社はソフトウェアの開発及び保守を主たる事業としております。

当第２四半期連結累計期間の国内経済情勢は、緩やかに回復しつつあるものの改善の動きには停滞感があり、各企業においては、設備投資意欲は持ち直しつつあるものの先行きへの慎重な見方が依然根強いものと見られます。当社の主要な事業領域であるクレジットカードや証券、金融の各業界においてもこうした傾向に大きな変化は見られませんでしたが、カードショッピングやオートローンなど一部の個人消費の増勢により大手クレジットカード会社の業績は改善しつつあり、業法改正に伴う貸倒関連コストも減少が見られる等当社の事業環境も今後の改善が期待されます。

このような事業環境において、当社は既存顧客を中心として積極的に事業を進めてきました。

この結果、当第２四半期連結累計期間においては、売上高 2,070 百万円（前年同四半期比 4.9%減)、経常損失 61 百万円（前年同四半期は 1 百万円の経常損失)、四半期純損失 67 百万円（前年同四半期は 55 百万円の四半期純利益）となりました。

前年同期比減収減益ながらも当初計画を上回り、平成 23 年 1 月 28 日に業績予想を修正いたしました。

当第２四半期連結累計期間における各セグメント別の状況は以下のとおりです。

・カードビジネスのフロント業務

カードビジネスのフロント業務においては、当社の主要顧客であるクレジットカード会社からのシステム開発受託及びシステム保守並びにハードウェア販売等により、当第２四半期連結累計期間の売上高は 1,263 百万円、営業利益は 292 百万円となりました。

・システムソリューション業務

システムソリューション業務においては、当社の主要顧客である証券会社等からのシステム開発受託及びシステム保守並びに当社開発製品の販売等により当第２四半期連結累計期間の売上高は651 百万円、営業損失は 76 百万円となりました。

・セキュリティシステム業務

セキュリティシステム業務においては、情報漏洩対策システム「CWAT」の販売及び保守並びにセキュリティ製品の販売等により当第２四半期連結累計期間の売上高は 155 百万円、営業損失は 278 百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第２四半期連結会計期間末における資産の残高は､前連結会計年度末に比べ197 百万円増加し､5,649 百万円となりました。うち流動資産は、前連結会計年度末に比べ７百万円減少し、3,441 百万円となりました。これは主に、現金及び預金 224 百万円の増加がありましたが、受取手形及び売掛金 364 百万円の減少によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ 205 百万円増加し、2,207 百万円となりました。これは主に、繰延税金資産 71 百万円の減少及び長期預金 100 百万円の減少がありましたが、投資有価証券 369 百万円の増加があったためであります。

(負債)

当第２四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ 189 百万円増加し、998 百万円となりました。これは主に、賞与引当金 42 百万円の減少がありましたが、支払手形及び買掛金 188 百万円の増加並びに資産除去債務 40 百万円の増加があったためであります。

(純資産)

当第２四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ８百万円増加し、4,650 百万円になりました。これは主に、利益剰余金 199 百万円の減少がありましたが、その他有価証券評価差額金 218 百万円の増加があったためであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、2,212 百万円となり、前連結会計年度末に比べて、124 百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、311 百万円の収入（前年同四半期は 248 百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失 87 百万円及びたな卸資産の増加額 106 百万円がありましたが、売上債権の減少額 341 百万円及び仕入債務の増加額 188 百万円があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、46 百万円の支出（前年同四半期は 279 百万円の収入）となりました。これは主に、無形固定資産取得による支出額 33 百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、131 百万円の支出（前年同四半期は 122 百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払による 131 百万円の支出があったためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成 23 年１月 28 日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

※上記の予想は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

２．その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第２四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化が無いと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、当第２四半期連結累計期間の営業損失及び経常損失はそれぞれ1,459千円増加し、税金等調整前四半期純損失は25,499千円増加しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は40,274千円であります。

表示方法の変更

（四半期連結損益計算書関係）

1. 前第２四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めていた「受取賃借料」は、営業外収益の 100 分の 20 を超えたため、当第２四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。

なお、前第２四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「受取賃借料」は 1,427 千円であります。

2. 前第２四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めていた「未払配当金除斥益」は、営業外収益の 100 分の 20 を超えたため、当第２四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。

なお、前第２四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含めていた「未払配当金除斥益」は 1,726 千円であります。

3. 前第２四半期連結累計期間において、区分掲記していた「法人税等還付加算金」は、営業外収益の 100 分の 20 以下となったため、営業外収益の「その他」に含めて表示しております。

なお、当第２四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「法人税等還付加算金」の金額は 321 千円であります。

4. 「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 22 号　平成 20 年 12 月 26 日）に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成 21 年３月 24 日　内閣府令第５号）の適用に伴い、当第２四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失（△）」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成22年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,314,337	2,089,529
受取手形及び売掛金	733,611	1,097,711
たな卸資産	238,843	132,537
その他	161,436	141,770
貸倒引当金	△6,300	△11,898
流動資産合計	3,441,929	3,449,649
固定資産		
有形固定資産	407,358	403,429
無形固定資産	128,578	128,448
投資その他の資産		
投資有価証券	1,133,597	764,223
その他	634,854	802,643
貸倒引当金	△97,243	△97,243
投資その他の資産合計	1,671,208	1,469,623
固定資産合計	2,207,145	2,001,501
資産合計	5,649,075	5,451,150

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成22年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	292,640	103,849
未払法人税等	6,563	7,506
賞与引当金	52,875	95,124
役員賞与引当金	193	27,720
関係会社事業損失引当金	22,050	39,284
その他	264,203	313,868
流動負債合計	638,528	587,355
固定負債		
退職給付引当金	169,582	161,346
役員退職慰労引当金	55,262	58,050
資産除去債務	40,581	－
その他	94,344	1,628
固定負債合計	359,770	221,024
負債合計	998,298	808,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,750	843,750
資本剰余金	559,622	559,622
利益剰余金	3,051,203	3,250,667
株主資本合計	4,454,576	4,654,039
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	262,492	43,615
為替換算調整勘定	△66,292	△54,885
評価・換算差額等合計	196,200	△11,269
純資産合計	4,650,776	4,642,770
負債純資産合計	5,649,075	5,451,150

(2) 四半期連結損益計算書
【第２四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成21年７月１日 至 平成21年12月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成22年７月１日 至 平成22年12月31日）
売上高	2,177,858	2,070,386
売上原価	1,503,149	1,458,186
売上総利益	674,709	612,200
販売費及び一般管理費	679,492	674,155
営業損失（△）	△4,783	△61,954
営業外収益		
受取利息	548	438
受取配当金	185	337
受取賃貸料	－	1,529
未払配当金除斥益	－	1,545
法人税等還付加算金	2,139	－
その他	6,178	2,177
営業外収益合計	9,051	6,028
営業外費用		
支払利息	－	86
為替差損	2,103	2,401
コミットメントフィー	2,731	2,491
その他	585	555
営業外費用合計	5,420	5,535
経常損失（△）	△1,151	△61,461
特別利益		
固定資産売却益	－	596
貸倒引当金戻入額	－	2,822
匿名組合投資利益	138,596	－
特別利益合計	138,596	3,418
特別損失		
固定資産除却損	3,016	－
減損損失	2,343	642
保険解約損	3,518	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	24,040
その他	－	4,711
特別損失合計	8,877	29,394
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	128,567	△87,437
法人税、住民税及び事業税	335	571
法人税等調整額	73,224	△20,245
法人税等合計	73,560	△19,674
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	－	△67,763
四半期純利益又は四半期純損失（△）	55,007	△67,763

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成21年７月１日 至 平成21年12月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成22年７月１日 至 平成22年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	128,567	△87,437
減価償却費	45,801	55,854
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,295	△5,598
賞与引当金の増減額（△は減少）	△9,159	△42,249
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△13,828	△27,526
関係会社事業損失引当金の増減額（△は減少）	－	△17,233
退職給付引当金の増減額（△は減少）	10,152	8,235
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	2,977	△2,787
受取利息及び受取配当金	△733	△775
支払利息	－	86
コミットメントフィー	2,731	2,491
固定資産売却損益（△は益）	－	△596
匿名組合投資損益（△は益）	△138,596	－
固定資産除却損	3,016	－
減損損失	2,343	642
保険解約損益（△は益）	3,518	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	24,040
売上債権の増減額（△は増加）	△212,413	341,647
たな卸資産の増減額（△は増加）	△77,815	△106,305
仕入債務の増減額（△は減少）	△45,966	188,578
その他	△16,502	△30,585
小計	△314,612	300,479
利息及び配当金の受取額	822	761
利息の支払額	－	△86
コミットメントフィーの支払額	△2,765	△2,843
法人税等の還付額	76,702	14,355
法人税等の支払額	△8,604	△846
営業活動によるキャッシュ・フロー	△248,456	311,820

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成21年７月１日 至 平成21年12月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成22年７月１日 至 平成22年12月31日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△299	△337
投資有価証券の売却による収入	62,980	－
匿名組合出資金の払戻による収入	210,802	－
有形固定資産の売却による収入	－	596
有形固定資産の取得による支出	△5,873	△7,292
無形固定資産の取得による支出	△50,053	△33,317
敷金及び保証金の差入による支出	△3,825	△721
敷金及び保証金の回収による収入	63,965	640
保険積立金の積立による支出	△6,721	△6,337
保険積立金の解約による収入	12,523	－
貸付けによる支出	△3,900	－
その他	－	48
投資活動によるキャッシュ・フロー	279,597	△46,723
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	－	200,000
短期借入金の返済による支出	－	△200,000
配当金の支払額	△122,189	△131,367
財務活動によるキャッシュ・フロー	△122,189	△131,367
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,031	△8,746
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△103,079	124,982
現金及び現金同等物の期首残高	1,684,179	2,087,883
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,581,099	2,212,865

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第２四半期連結累計期間（自　平成 22 年７月１日　至　平成 22 年 12 月 31 日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

ａ．事業の種類別セグメント情報

前第２四半期連結累計期間（自　平成 21 年７月１日　至　平成 21 年 12 月 31 日）

（単位：千円）

	カードビジネスのフロント業務	システムソリューション業務	セキュリティシステム業務	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	1,196,155	792,780	188,922	2,177,858	―	2,177,858
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	(―)	―
計	1,196,155	792,780	188,922	2,177,858	―	2,177,858
営業利益又は営業損失(△)	421,757	122,131	△280,850	263,038	(267,821)	△4,783

(注)１．事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

２．各区分の主な製品

(1)カードビジネスのフロント業務

クレジットシステム自社開発パッケージ「NET+1」によるクレジットネットワークシステム及び集配信システムの提供

(2)システムソリューション業務

クレジットカード不正利用検知システム「ACE Plus」製品の販売、銀行・証券会社における市況情報配信システム製品の販売、通信ミドルウェア「RIX」（自社製品）及び海外製品の販売技術支援

(3)セキュリティシステム業務

内部情報漏洩対策システム「CWAT」製品の販売、文書暗号化ソフト「EUCSecure」製品の販売

ｂ．所在地別セグメント情報

前第２四半期連結累計期間（自　平成 21 年７月１日　至　平成 21 年 12 月 31 日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が 90％を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

ｃ．海外売上高

前第２四半期連結累計期間（自　平成 21 年７月１日　至　平成 21 年 12 月 30 日）

海外売上高が連結売上高の 10％未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第 17 号　平成 21 年３月 27 日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 20 号　平成 20 年３月 21 日）を適用しております。

１．報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会において経営資源の配分の決定及び業績の評価を行うため、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は主に製品サービス別に「カードビジネスのフロント業務」「システムソリューション業務」「セキュリティシステム業務」の３事業に分類し、当該３事業を報告セグメントとしております。

それぞれの報告セグメントに含まれる主な事業内容は「カードビジネスのフロント業務」では、クレジットシステム自社開発パッケージ「NET+１」によるクレジットネットワークシステム及び集配信システムの提供、「システムソリューション業務」ではクレジットカード不正利用検知システム 「ACE Plus」製品の販売、銀行・証券会社における市況情報配信システム製品の販売、通信ミドルウェア「RIX」（自社製品）及び海外製品の販売技術支援、「セキュリティシステム業務」では、内部情報漏洩対策システム「CWAT」製品の販売、文書暗号化ソフト「EUCSecure」製品の販売となっております。

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第２四半期連結累計期間（自　平成22年７月１日　至　平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				合計
	カードビジネスのフロント業務	システムソリューション業務	セキュリティシステム業務	計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,263,320	651,742	155,323	2,070,386	2,070,386
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,263,320	651,742	155,323	2,070,386	2,070,386
セグメント利益又は損失(△)	292,989	△76,743	△278,200	△61,954	△61,954

３．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しているため、差異調整は行っておりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第２四半期連結累計期間（自　平成 22 年７月１日　至　平成 22 年 12 月 31 日）

該当事項はありません。

４．補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第２四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
カードビジネスのフロント業務	616,950	—
システムソリューション業務	420,438	—
セキュリティシステム業務	45,858	—
合計	1,083,247	—

(注) 1　セグメント間取引については、相殺消去しております。
2　生産実績は、販売価格により表示しております。
3　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第２四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
カードビジネスのフロント業務	1,234,310	—	973,918	—
システムソリューション業務	478,324	—	515,579	—
セキュリティシステム業務	158,105	—	45,899	—
合計	1,870,741	—	1,535,396	—

(注) 1　セグメント間取引については、相殺消去しております。
2　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第２四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
カードビジネスのフロント業務	1,263,320	—
システムソリューション業務	651,742	—
セキュリティシステム業務	155,323	—
合計	2,070,386	—

(注) 1　セグメント間取引については、相殺消去しております。
2　主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第２四半期連結累計期間		当第２四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
(株) ユーフィット	—	—	321,958	15.6
(株) 大和総研	224,702	10.3	228,423	11.0

3　前第２四半期連結累計期間の(株)ユーフィットについては、当該割合が100分の10未満のため記載を省略しております。
4　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。